岡山代協

# 新時代を生き残るための代協活動を

## 通常総会および暴力追放大会を開催

挨拶する歳森会長

岡山代協（歳森宏会長）は5月26日、アークホテル岡山で第61回通常総会、ならびに第40回暴力追放大会を開催した。今年も昨年に引き続き、会場参加、オンライン参加が選択できるハイブリッド方式での開催となった。

### さまざまな価値向上策を推進

通常総会開催にあたって冒頭、歳森会長から挨拶があった。

「今月、待ちに待った新型コロナウイルスの2類から5類への変更で、日本のさまざまな場所で人々が行き交い、新たな時代を迎えるような雰囲気の中で、昨年に続き、今年も会場へお越しいただくリアル参加、またZoomを活用したオンライン参加をいただき第61回岡山県損害保険代理業協会総会がこのように開催できますことを非常にうれしく感じております。

またご来賓として阿部衆議院議員をはじめ国会議員の秘書の皆様、また日頃さまざまな立場からご支援ご教示いただいております谷川日本代協地域担当理事様、本日はご臨席賜り、誠にありがとうございます。コロナウイルスが発症し全世界を覆いつくしてきたこの数年間、会員の皆様におかれましては、非常にご苦労され、また、そのような中、生き残るためさまざまな取組みをされてきたと思います。私たちを取り巻く環境は大きく変わり、異様な速さでIT・WEB環境が進歩する反面、人と人との接点が少なくなり、効率が重視され、ある意味厳しい数年間と言っても過言ではありませんでした。

しかしながらこのような中、直接日頃の協会活動をご報告し、ご意見をお伺いすることができる総会を開催する運びとなりました。

これから新しい時代を生き残っていくために、企画環境委員会で計画しておりますさまざまな価値向上策の推進や、県内6つの支部活動の中では独自の研修や会員間の交流を行うなど、個性をいかした代協活動などがますます必要不可欠となってきます。

個人的には今年度会長としての最終年度になりますが、次の時代にバトンをお渡しできるよう粉骨砕身取り組んでまいります。

どうか本日お越しの皆様のさらなるご支援をいただき引き続き、代協の取組みの継続をお願いいたしますとともに、会員企業とその社員の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りいたします」

その後、来賓あいさつ、新入会員の紹介があり、第1号議案（2022年度事業報告案承認の件）、第2号議案（2022年度収支決算報告案承認ならびに監査報告）、第3号議案（理事案承認の件）、第4号議案（2023年度会費額案承認の件）、第5号議案（2023年度事業計画案承認の件）、第6号議案（2023年度収支予算案承認の件）がそれぞれ承認された。

引き続き、フリーアナウンサーの久保田夏采氏（現役アナウンサーが伝える、ちょっと徳するいい話）というテーマで1時間講演し、代協総会行事は終了した。なお、同協会の会員数は2023年3月31日現在、280名となっている。

休憩をはさみ、暴力追放大会が開催された。岡山県損害保険代理業協会暴力追放協議会は昭和57年9月に全国に先駆けて発足し、さらに昭和62年6月には下部組織として県内警察署単位に支部を組織し、損害保険制度をめぐる暴力団等の不当介入、不当請求の排除活動を続けてきた歴史がある。

開会にあたり、同会の歳森会長が、会員ならびに関係者のさらなる強固な団結であらゆる場面から暴力を追放しようと訴えた。

その後、岡山県警本部刑事部組織犯罪対策第一課の相原耕一暴力団排除対策官が「最近の暴力団情勢について」、同交通部交通指導課の岡崎康宏課長補佐が「交通事故・保険金詐欺の現状について」、それぞれ講演、参加者一同で暴力追放宣言を行い終了した。